

関東地区テレビ視聴率調査の仕様変更について

～ サンプル拡張とタイムシフト測定 ～

2016年8月26日

株式会社ビデオリサーチ（本社：東京都千代田区、社長：加藤讓、以下ビデオリサーチ）は、この度、関東地区テレビ視聴率調査の仕様を10月から下記の通り変更して実施することになりましたので、お知らせいたします。

【Point】

- 1. 2016年10月3日（月）から、関東地区視聴率調査世帯数を900世帯に拡張**
- 2. 900世帯に拡張された関東地区視聴率調査において、タイムシフト測定を実施**

ビデオリサーチは、2015年12月8日・9日に開催したVRフォーラムで『ビデオリサーチが描く“これからの視聴率”』として、今後の視聴率調査の対応計画についてご紹介した通り、生活者（視聴者）の多様化、デジタル化による視聴形態の変化から生じている“テレビ視聴の分散化”に対し、視聴者の実態をより詳細に捉えたメディアデータを提供するために、10月3日（月）より 関東地区テレビ視聴率調査の仕様の変更をいたします。

2013年9月30日より実施してきました「タイムシフト視聴調査」（関東地区視聴率調査の仕様設計に準じて設定した300世帯）を現在の視聴率調査600世帯に統合し**900世帯**を形成します。

また、**900世帯全てにおいて、視聴率調査と同時にタイムシフト視聴測定にも対応**できるセンサーを配備し、900世帯内でのタイムシフト視聴測定を実現いたします。

今後も拡張された関東地区視聴率調査をもとに、これからのテレビメディアデータのあり方やデータ提供内容について引き続き検討を進めていきます。

また、**スマートデバイスによるテレビ視聴**の測定についても準備を開始いたします。

2016年10月から、試験的に実態を把握する取り組みを開始し、これからのテレビメディアデータの研究として、テレビ視聴測定範囲の拡大およびデータ提供のあり方などについても検討してまいります。